

企業内英語教育の研究 : 学習者の自律性に着目して

岩田, 京子

<https://hdl.handle.net/2324/1500478>

出版情報 : 九州大学, 2014, 博士 (教育学), 課程博士
バージョン :
権利関係 : やむを得ない事由により本文ファイル非公開 (2)

| | |
|--------|--|
| 氏名 | 岩田 京子 |
| 論文名 | 企業内英語教育の研究 ―学習者の自律性に注目して |
| 論文調査委員 | 主査 九州大学 准教授 岡 幸江 副査 九州大学 教授 吉本 圭一 副査 九州大学 教授 元兼 正浩 副査 九州大学 教授 山口 裕幸 |

論文調査の結果の要旨

本研究は、1990年代以降急速に拡大した企業内英語教育について、外発的に動機づけられた学習者を「とらわれた学習者」ととらえ、ノールズのアンドラゴジー論を分析視点として彼らが自律性を確保する可能性を論じたものである。本論前半においては英語学習が人事考課要件の手段になる時代状況のなかで「とらわれた学習者」が形成される仕組みが解明されている。同時に後半では、企業により組織文化や学習者への管理的側面が異なるなかで、特に中小企業にみられがちな管理者と一学習者の両面をもちあわせる矛盾的存在に注目し、彼らの周囲に生成される学習を自律的学習として示すことで、企業に新しい組織文化が生まれる可能性を描き出している。本論はこうして教育学諸領域が見過ごしてきた企業内英語教育という分野に着眼し、日本の企業内教育研究に新しい組織文化生起の可能性を提示する意欲的な研究と評価される。

よって、本論文は博士（教育学）の学位に値するものと認める。